

子育て支援センターの利用者の声



（末広町）
園田由貴江さん・
庵季ちゃん

ママ同士のおしゃべりで、ほっと一息

週に3回から4回程、子育て支援センターを利用しています。最近は、ペットボトルで作った手作りおもちゃで遊ぶのが好きで、一生懸命遊んでいます。子育て支援センターには、ここで知り合いになったママも遊びに来ていますので、ママ同士でおしゃべりをするのも楽しみです。

保育士さんもいるので安心

自宅だとどうしても遊ぶ場所が限られますが、子育て支援センターを利用すると、広いところで遊ばせることができるのが良いです。子供が走り回るので、私一人で二人の子供を見るのは大変ですが、保育士さんもいますので、安心して遊ばせたり、子育てについても相談したりすることができます。



（川内町五丁目）
清塚南さん・凜ちゃん・
蒼汰郎ちゃん

一日の生活にリズムが出ます

子育て支援センターに遊びに来ると、娘と同じくらいの歳の子供がいるので、一緒に遊べるのが楽しいみたいです。午後2時くらいまで支援センターを利用して、その後、家でぐっすりとお昼寝をしてくれるので、その間に家事を済ませたり、空いた時間に息抜きができます。



（川内町五丁目）
野原美穂さん・
愛叶ちゃん



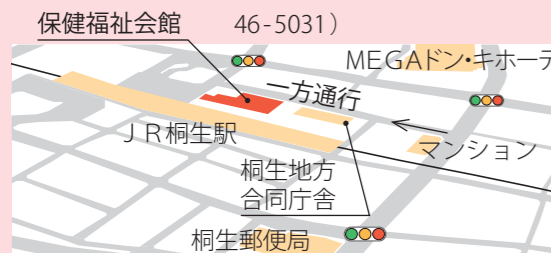
切れ目のない支援で 子育てを応援

自分一人で子育てをしなければならぬ家庭、おじいちゃん、おばあちゃん子育てに参加してくれる家庭、様々な家庭があります。明日、どうしても仕事を休めないのに、子供が病気で保育園に預けられない。長い子育て生活では、こんな状況になることもあるかもしれません。市では、一人一人の状況に感じ、皆さんがより良い環境で、不安なく子育てができ、また、安心して働くことができるように、皆さんに寄り添い、切れ目のない支援を行っています。問い合わせは、子育て支援課子育て支援係（☎内線308）へ。

保健福祉会館



桐生市子育て支援センター
（保健福祉会館3階）
開館時間
月～金曜日＝8:30～17:15
土・日曜日＝10:00～16:00
休館日＝祝日、年末年始
問い合わせ＝同センター（☎46-5031）



子育てに関する様々な講座を開催しています。季節ごとに、赤ちゃんなど、小さいお子さんが快適に過ごすためのポイントや、手遊び、わらべうたなど、子供と一緒に遊んで遊びながら子育てに役立つ皆さんの知識を楽しく学ぶことができます。

相談する
保育士などの専属の係員が、育児に不安を感じたり、迷ったりしている皆さんの相談にお応えします。「うちの子は、保育園、幼稚園、認定こども園のどこに入

子供と学ぶ
育児講座や健康講座など、子育てに関する様々な講座を開催しています。季節ごとに、赤ちゃんなど、小さいお子さんが快適に過ごすためのポイントや、手遊び、わらべうたなど、子供と一緒に遊んで遊びながら子育てに役立つ皆さんの知識を楽しく学ぶことができます。

友達をつくる
たくさんの親子が集う子育て支援センターは、子供同士、親同士の交流のスペースとなっています。友達づくりや情報交換の場として利用いただき、楽しく充実した子育ての時間をお過ごしください。

子育てについて知る
園でできるの」といった、子育てに関する疑問や悩みごとなど、お気軽に御利用ください。

**ママ、パパ、子供の交流スペース
子育て支援センター**
保健福祉会館と、10か所の民間保育所に「子育て支援センター」を設置しています。お母さん、子育てで悩まないで、をキャッチフレーズに子育てサロンや育児相談などを行い、子育てを応援します。

産後の不安や体調不良を「産後ケア」でサポートします
10月から、JR桐生駅前の保健福祉会館にある健康づくり課で「産後ケア事業」をスタートします。妊娠の届出のときに、心配ごとなどをお聴きして、支援が必要な人には、母子保健支援プランを作成します。産後に授乳トラブルや強い

**ワンストップでの支援を
保健福祉会館で行います**
「母子保健型の利用者支援事業」における産前・産後期などのきめ細やかな支援と、「基本型の利用者支援事業」における子育て支援サービスなどの情報発信や相談機能の連携を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のワンストップ拠点として、保健福祉会館において「子育て世代包括支援センター」を整備します。

育児不安など、心身の不調を抱えているが家族などの援助を受けられない人は、医療機関において産後ケアが受けられます。宿泊しながら授乳指導を受け、乳房ケアや休息もとれる「産後ケア事業」には、日帰り型もあり、担当保健師が紹介します。

支援員の声

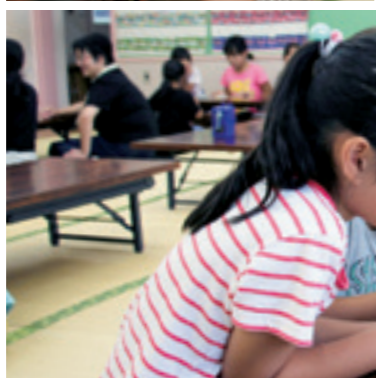


広沢なかよしクラブ
主任支援員 小芝 康子さん

子供がほっとできる場でありたい

放課後児童クラブで支援員を始めて13年目になります。およそ120人の児童を13人の支援員と4人の補助員が交代で見守っています。クラブでは、学校が終わって帰ってきた子供がほっと安らげる場でありたいと心掛けています。

今では、このクラブを卒業した子も補助員として後輩を見守っています。



放課後児童クラブ

現在、市内の小学生の4分の1にあたる約1200人の子供が利用し、放課後児童支援員などが見守る中、宿題をしたり、元気に遊んだり、充実した時間を過ごしています。市では、必要に応じてクラブ室を増設するなど、適宜施設整備を行っており、待機児童はゼロとなっています。

開所時間は、月曜日から金曜日までは放課後から午後7時まで、土曜日や夏休みなどの長期休暇は午前7時30分から午後7時までです。

支援員が見守ります

放課後児童クラブは、昼間、保護者が仕事などの理由で家にいない小学生を対象に、学校の余裕教室などを利用し、長期休暇や授業終了後などに適切な遊びや生活の場を提供しています。

全小学校区にあります

ら午後7時までです。

全てのクラブが学校敷地内や隣接地に開設されているため、クラブへの移動の安全も確保されています。

全てのクラブで長期休暇も対応

市では「桐生市放課後児童クラブ設置運営マニュアル」の大幅な改正を行い、平成28年度から市内の全てのクラブにおいて、保育料やサービス内容などの統一を実現しました。その結果、市内のどのクラブを利用しても、同じ保育料、同じ保育サービスを受けることができます。

また、保育料の統一とあわせて、第3子以降の入所児童の保育料を無料にするなど、保護者の負担が軽減されました。

より良い保育環境で質の高いサービスの提供に努めていますので、保護者の皆さんは、安心して放課後児童クラブを利用ください。

保育園の話題

黒保根町国際理解推進事業

ランディ先生と英語を交えて交流

黒保根保育園では、毎週月・水・金曜日に1時間程度、ランディ先生が訪れ、保育園の園児と楽しく交流しています。

小・中学校で行っている英語の授業とは異なり、外国出身の先生と日常をともに過ごすことで、園児が自然と異文化に触れ合うことができる環境となっています。

ランディ先生の声

生活の中に英語を

子供が大きくなってから習う英語は、どうしても勉強だとか試験のためになってしまう。英語を勉強だと思っていない小さいうちから楽しく英語に触れ、うまく話せなくても耳が慣れてくれたらいいと思っています。

今は、挨拶などを英語でしてくれる子供もいます。



黒保根町国際理解推進事業 英会話講師
ワードランディさん

保育園は、保護者が就労などの理由で、保育できないときに、保護者の代わりに保育を行う施設で、幼稚園、認定こども園とともに子育て世代の暮らしをサポートしています。

保育時間も柔軟に対応

一時的に保育ができなくなったときに子供を預かる「一時保育」や、就労形態の多様化に対応した「延長保育」など、皆さんの暮らしに合わせて様々なサービスを実施しています。

保育園・幼稚園・認定こども園



子育て支援サービスのさらなる充実を目指します

子育て世代の皆さんのニーズを把握しながら、子育て支援サービスのさらなる充実を目指しています。

平成27年度から始まった「子ども・子育て支援新制度」において一つの制度となった保育園、幼稚園、認定こども園などの施設サービスのほか、様々な子育て支援サービスの整備を総合的に推進していきます。

病児保育を始めました

病児保育事業は、病気がかかった子供をお預かりする事業です。この事業は、子育て支援に関するニーズ調査で希望が多かった子育て支援事業で、「仕事の都合がつかず、病気の子どもを保育できない」といった保護者の悩みを解決するため、今年7月、「病児保育室はなぞの」を織姫町に開設しました。

病児保育室は、病気がかかった子供をお預かりする事業です。この事業は、子育て支援に関するニーズ調査で希望が多かった子育て支援事業で、「仕事の都合がつかず、病気の子どもを保育できない」といった保護者の悩みを解決するため、今年7月、「病児保育室はなぞの」を織姫町に開設しました。

師が病気の子供の保育を行っています。

病児保育室を利用するためには、事前の登録が必要ですが、いざという時に利用いただけるよう、事前に登録手続きを済ませておくことをお勧めします。

病児保育室はなぞの
利用日 月曜日・金曜日・祝日、年末年始を除く
利用時間 午前8時30分～午後5時30分
場所 織姫町4-33（おりひめ医療内）
対象 2次の条件を全て満たす子供

①病気の回復期には至らないが容態の急変が認められない病児

②市内に居住する1歳から小学校6年生までの子供
利用料 1日2000円（市民税非課税世帯、生活保護世帯は減免）※このほかに実費で料金がかかる場合があります。

病児保育室に関する問い合わせは、病児保育室はなぞの（☎468166）へ。



皆さんの子育てを応援します

子育て支援サービス

次のサービスについては、「いきいき子育てガイドブック」を御覧ください。同ガイドブックは、子育て支援課、健康づくり課、子育て支援センター、各公民館などのほか、市ホームページにもあります。



「いきいき子育てガイドブック」二次元バーコード

妊娠がわかったら

- 妊婦健康診査（14枚の受診券交付）
- マタニティ&チャイルドマークステッカー（車貼付用）
- 妊産婦・乳児訪問（助産師や保健師による家庭訪問）
- ママ&パパ教室（産前編と産後編）

赤ちゃんが生まれたら

- 出産育児一時金（加入している健康保険から支給）
- 児童手当（中学校修了前の児童）
- 子ども福祉医療費助成（中学校3年生まで）
- 乳幼児健康診査（3か月児～3歳児）
- 離乳食講習（もぐもぐ離乳食、ステップアップ！離乳食）
- ブックスタート事業（7か月児に絵本2冊などを贈呈）
- 養育医療給付事業（1歳未満の未熟児）
- 育児相談（健康・育児・食事に関する相談）
- 予防接種（協力保険医療機関にて接種）

子育てを手助けしてほしい

■集う・参加する・遊ぶ・相談する

- 民生委員・児童委員
- 母子保健推進員
- 子育て支援センター（11か所）
- 子育てサークル（13サークル）
- おはなし会（図書館、新里図書館）

■子供を一時的に預ける

- ファミリー・サポート・センター事業（子供の一時預かり）
- 子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）

■その他

- 赤ちゃんの駅（77か所）
- ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）

保育園・幼稚園・認定こども園に入園させたい

- 保育園（公立保育園4園、私立保育園24園、計28園）
- 幼稚園（公立幼稚園7園、私立幼稚園3園、計10園）
- 認定こども園（私立2園）

小学生・中学生になったら

- 就学援助費（経済的な理由で通学が大変な子供）
- 放課後児童クラブ（全小学校区に27クラブ設置）

子育てに悩んだら

- 家庭児童相談（育児・家庭の不安などの相談）
- 子育て支援センター（総合相談、サービス利用支援）
- 育児相談・げんきメール（健康づくり課）
- 通級指導教室（こども相談室、ことばときこえの教室）
- 子ども発達相談

ひとり親家庭のために

- 児童扶養手当（18歳到達年度の末日を迎える前の児童）
- 交通遺児手当・交通遺児奨学助成金
- 母子家庭等・父子家庭福祉医療費助成
- 母子家庭等自立支援事業
（自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援・母子・父子自立支援プログラム）

障害のある子供のために

- 特別児童扶養手当（身体・精神に障害のある児童）
- 障害児福祉手当（常時介護が必要な20歳未満の人）
- 身体障害者等奨学助成金（高校、大学などに在学中の身体障害者）
- 心身障害者福祉医療費助成
- 難聴児補聴器購入支援事業助成金（軽度・中度難聴児）
- 育成医療（18歳未満の障害児）
- 児童発達支援（未就学の障害児）
- 放課後等デイサービス（学校に就学している障害児）

ウェブで子育て情報を知りたい

市ホームページ（「子育て・教育」）のほか、次のサイトを御利用いただくと便利です。

- 子育てポータルサイトおやここ



- 子育て応援サイト ママフレ



※上記の2サイトは市ホームページからも接続できます。